全国健康保険協会京都支部
統計年報
（令和2年度）

全国健康保険協会 京都支部
協会けんぽ

令和２年度　協会けんぽ京都支部概況

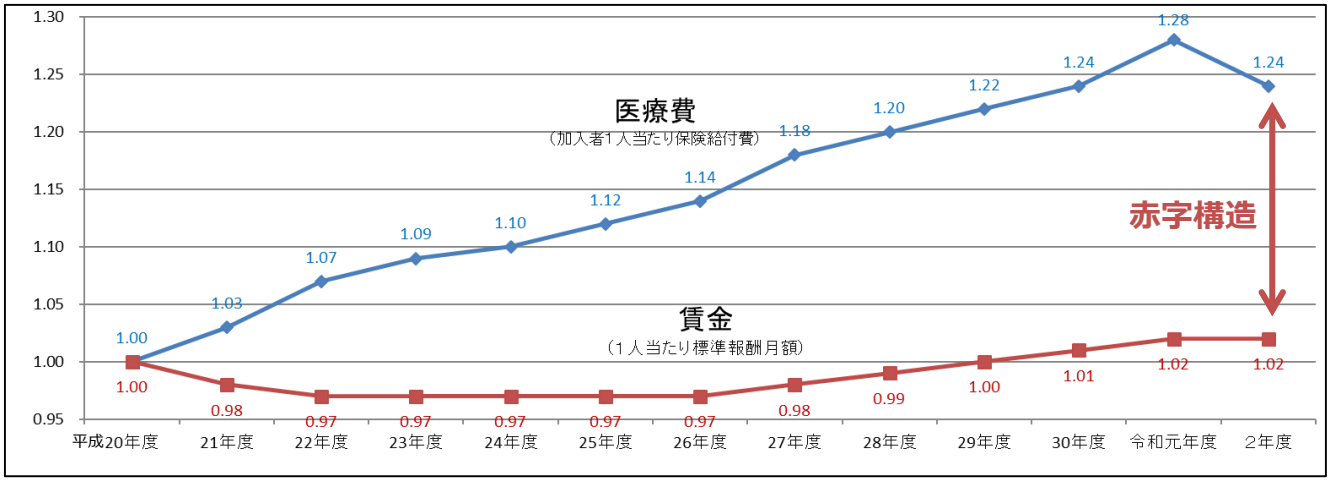
令和２年度の健康保険料率は、全国平均が１０.００％とし、京都支部は、令和元年度から据え置きの**１０.０３％**です。

健康保険料率については、協会けんぽの財政状況を背景に、将来の急激な健康保険料率の上昇を抑制するために、中長期的な観点から設定することとしており、全国平均保険料率は１０.００％を維持することとなりました。
全国平均保険料率１０.００％を前提として、京都支部加入者の令和２年度の医療費（年齢調整後）の見込みと保険料収入（所得調整後）の見込みと、平成３０年度の医療費及び保険料収入の実績による精算等から京都支部の健康保険料率を算定した結果、１０.０３％となりました。

京都支部においては、保険料収入のベースとなる令和２年度の平均標準報酬月額は**０.５％**の減少となりました。
また、支出の６割を占める保険給付費は、前年度比**３.７７％の減少**（令和元年度：１,４０２億２,４００万円、令和２年度：１,３４９億３,７００万円）となっており、近年の医療費の伸びが賃金の伸びを上回る状況と異なっております。

中長期的には財政状況が厳しくなると見込まれるなか、協会けんぽでは、保険料率の上昇を抑えるため、健診・保健指導、レセプト点検の取り組みを強化するとともに、ジェネリック医薬品の使用促進など医療費適正化に取り組んでいます。

協会けんぽの保険財政の傾向（対平成２０年度指数）

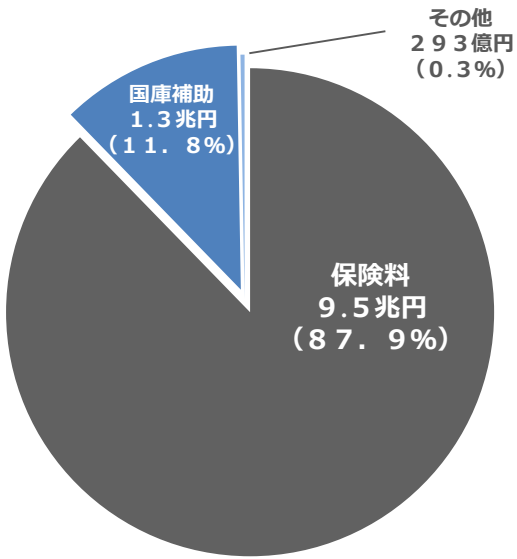


近年は（令和2年度を除く）**医療費（1人当たり保険給付費）の伸びが賃金（１人当たり標準報酬）の伸びを上回り**、協会けんぽの保険財政は赤字構造となっています。

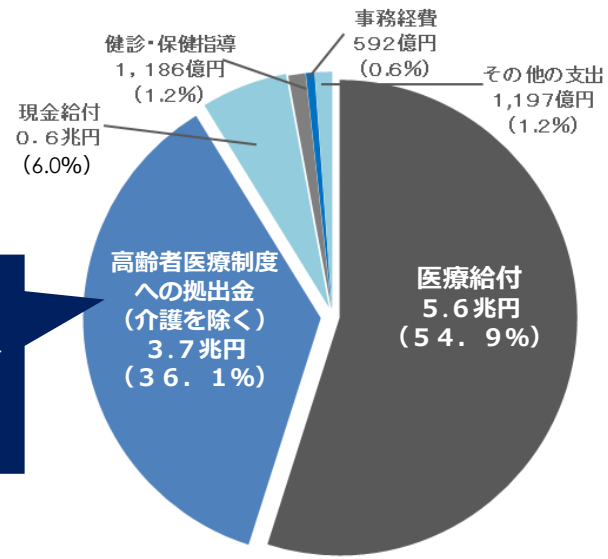
協会けんぽの財政構造（令和２年度決算）

協会けんぽ全体の支出は約１０.１兆円ですが、その**約４割、約３.７兆円が高齢者医療制度への拠出金に充てられています。**

収入　10兆7,650億円

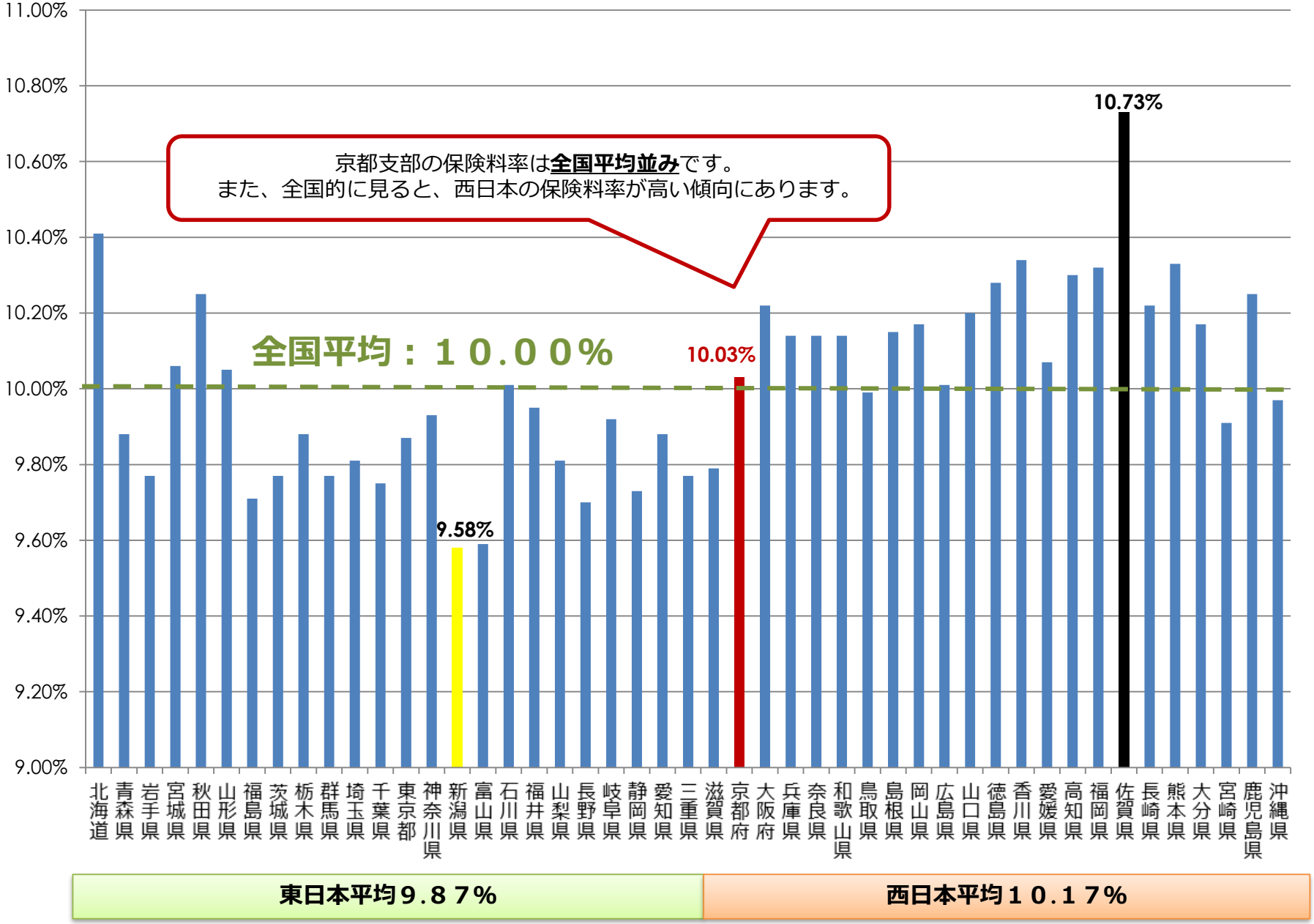


支出　10兆1,467億円



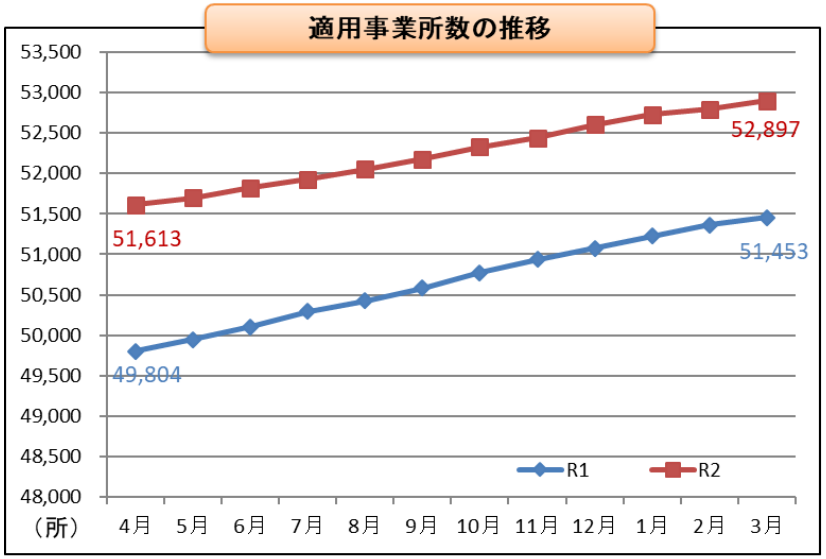
支出の約4割が高齢者医療制度への拠出金に充てられています。

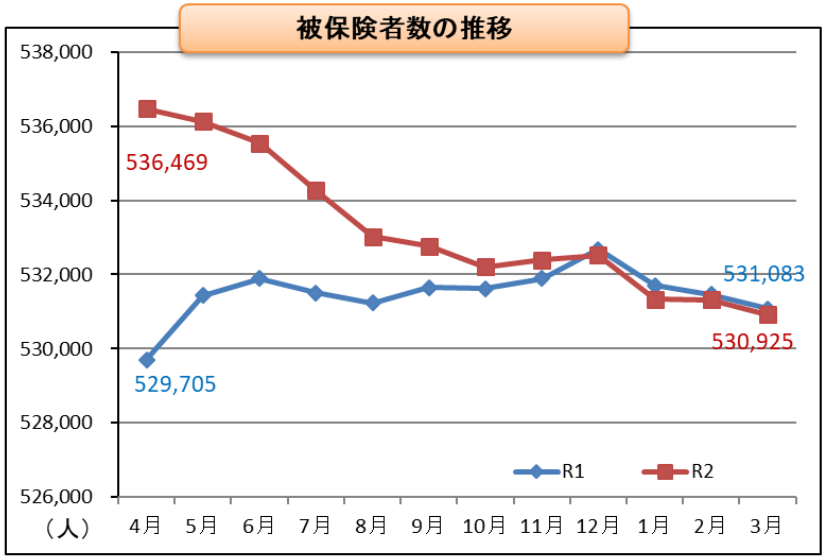
令和２年度の都道府県別の協会けんぽ保険料率

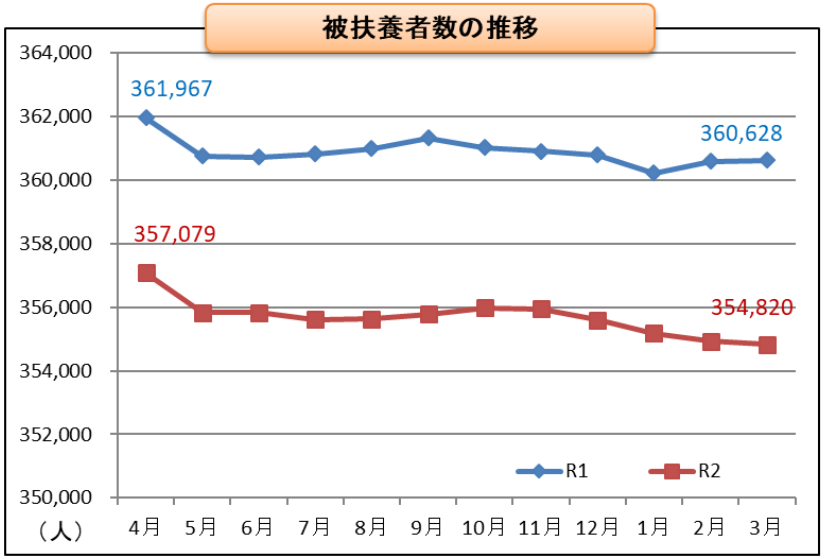


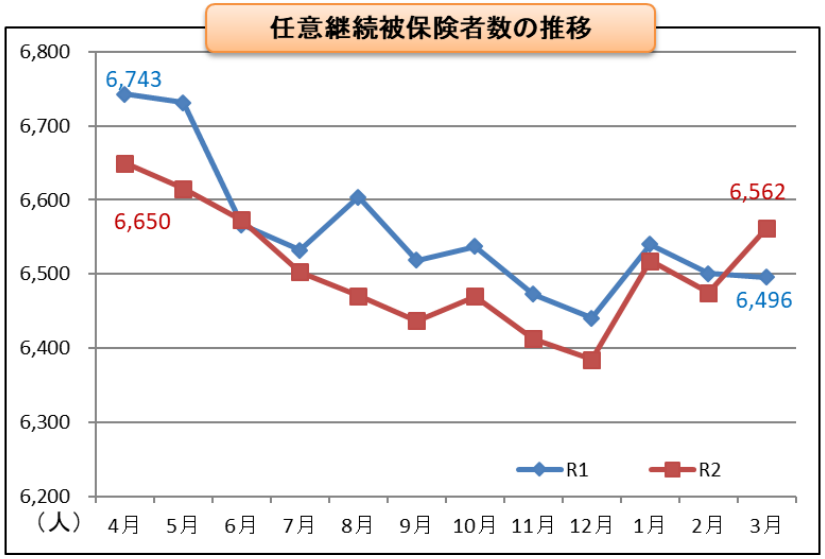
京都支部における適用事業所数・被保険者数・被扶養者数・任意継続被保険者数の状況（年度比較）

京都支部においては前年度に比べ、適用事業所数が増加した一方、被保険者数は令和3年3月末で158人、被扶養者数は5,808人減少しました。任意継続被保険者数は66名増加しました。





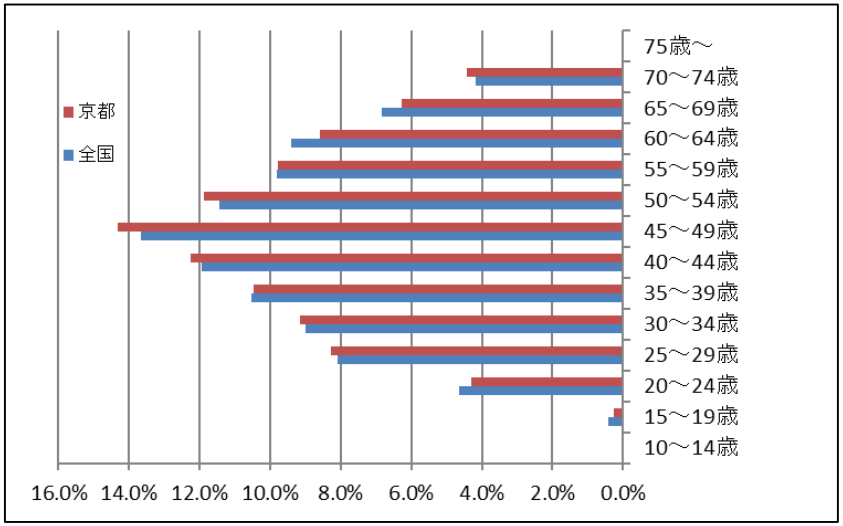




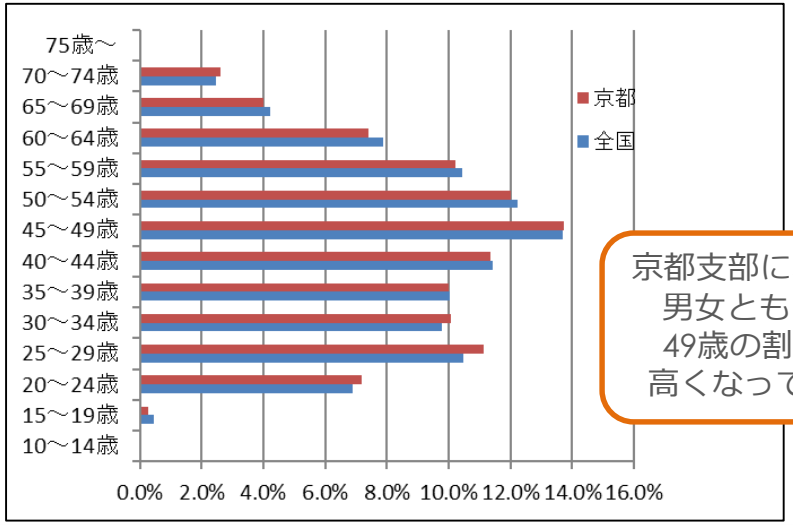
年齢階級別男女別被保険者割合（京都支部と全国の比較）

令和２年度末現在

男性



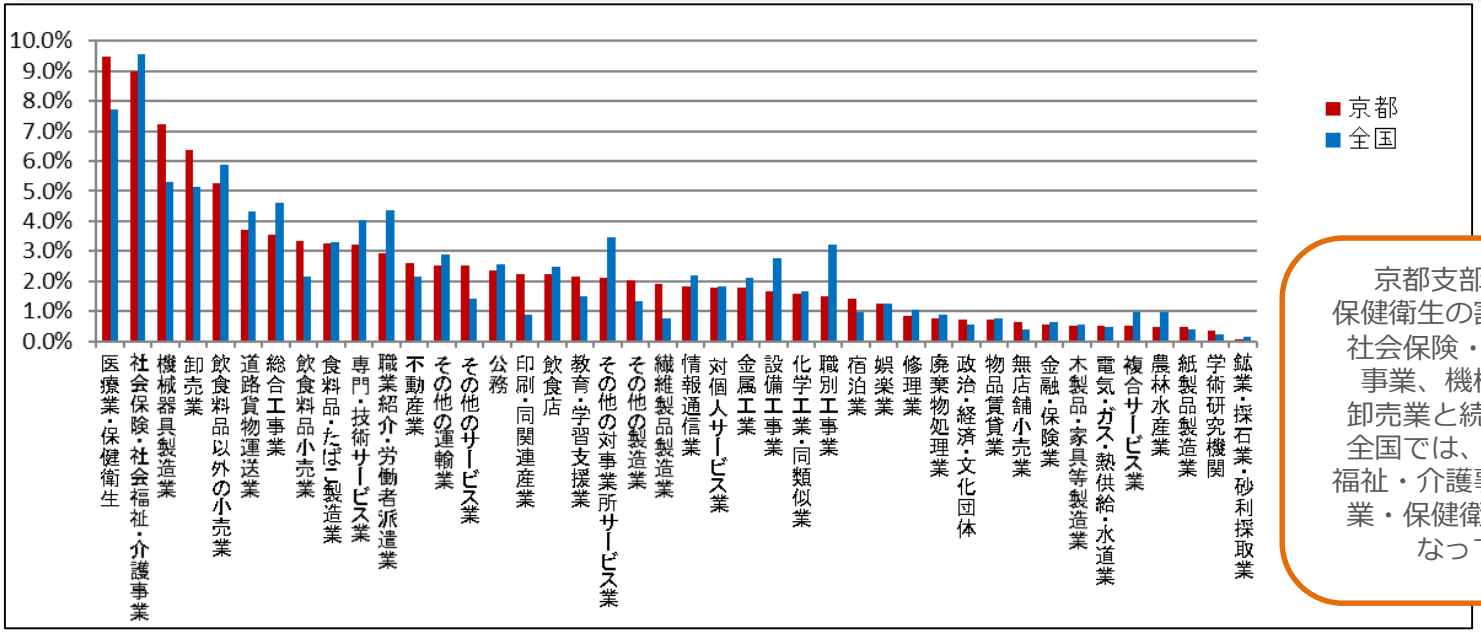
女性



京都支部においては、男女ともに45歳～49歳の割合が最も高くなっています。

業態別被保険者割合（京都支部と全国の比較）

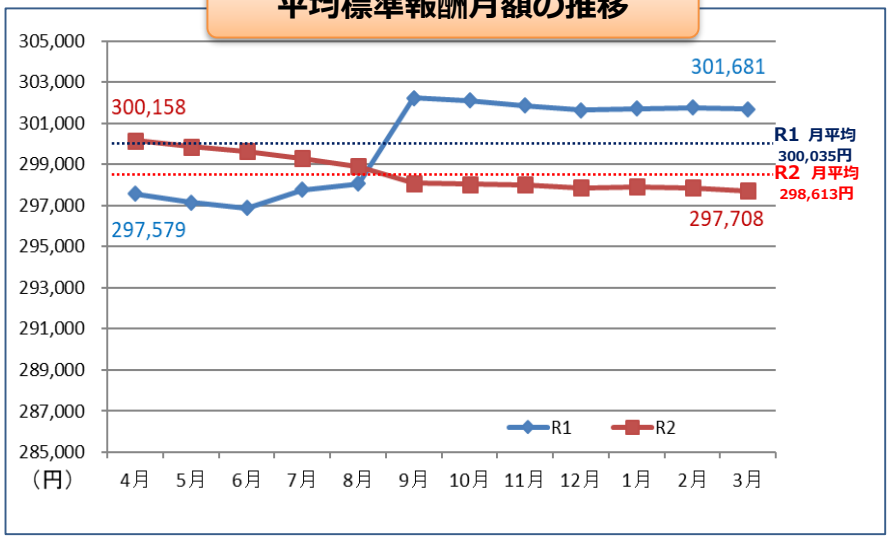
令和２年度末現在



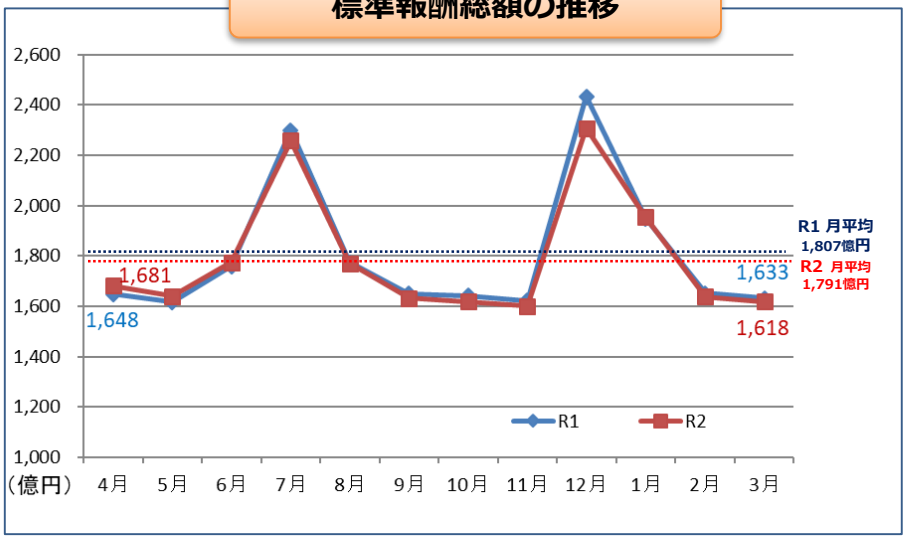
京都支部では、医療業・保健衛生の割合が最も高く、社会保険・社会福祉・介護事業、機械器具製造業、卸売業と続きます。また、全国では、社会保険・社会福祉・介護事業、次いで医療業・保健衛生の割合が高くなっています。

京都支部における標準報酬月額・標準報酬総額の状況（年度比較・全国比較）

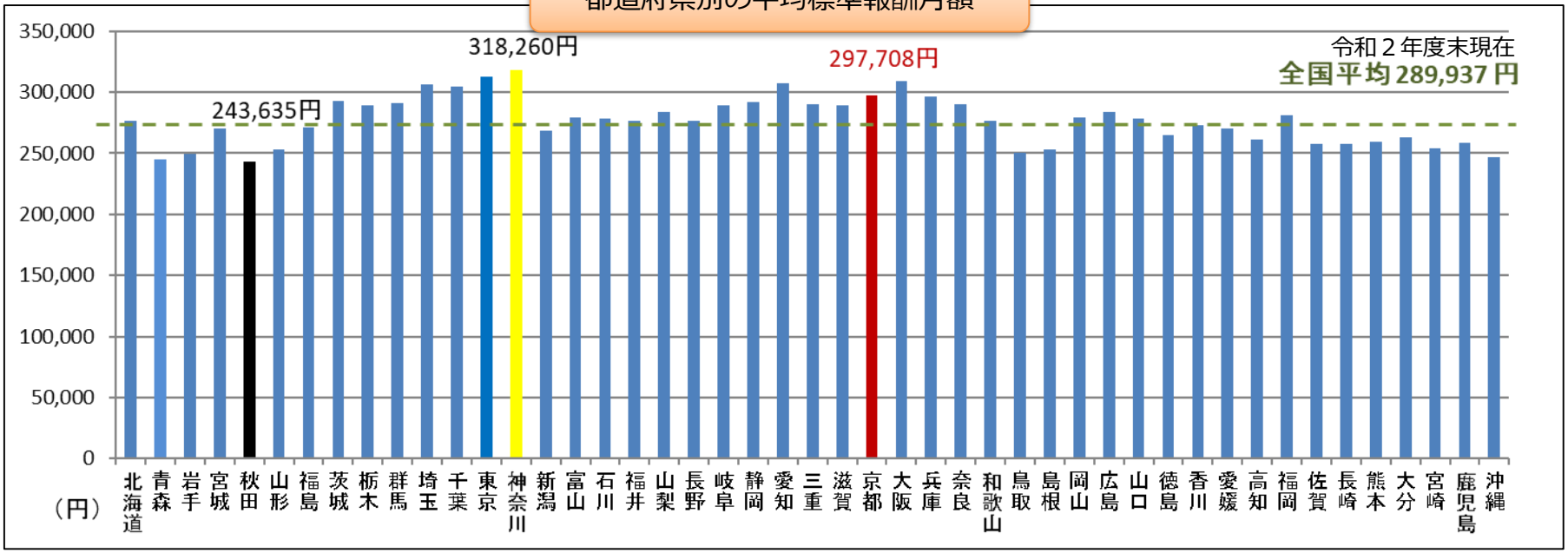
平均標準報酬月額の推移



標準報酬総額の推移



都道府県別の平均標準報酬月額



保険給付費（現物給付・現金給付費）の内訳

患者様がご負担していただく額（一部負担金）

協会けんぽ支払い分

保険給付費

医療給付費

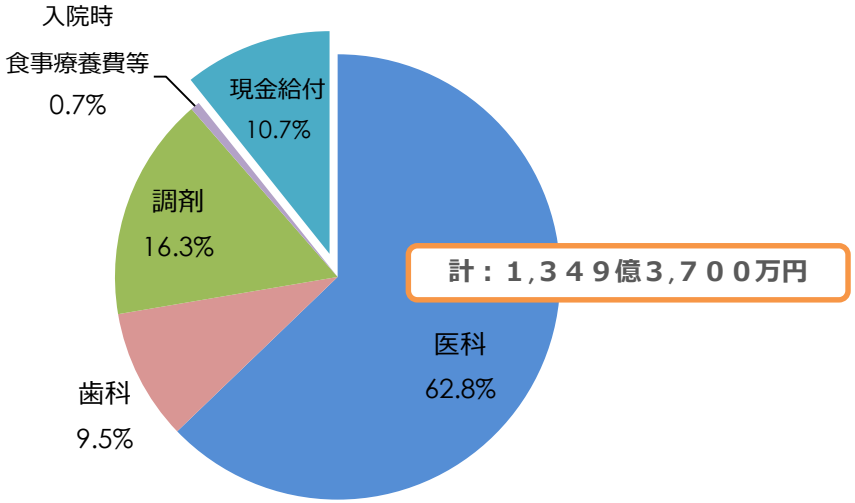
現物給付
- 医科（入院・外来）・歯科・調剤
- 訪問看護療養費
- 入院時食事療養費（標準負担額差額支給を除く）
- 入院時生活療養費（標準負担額差額支給を除く）

現金給付
- 入院時食事療養費（標準負担額差額支給）
- 入院時生活療養費（標準負担額差額支給）
- 療養費
- 移送費
- 高額療養費
- 高額介護合算療養費

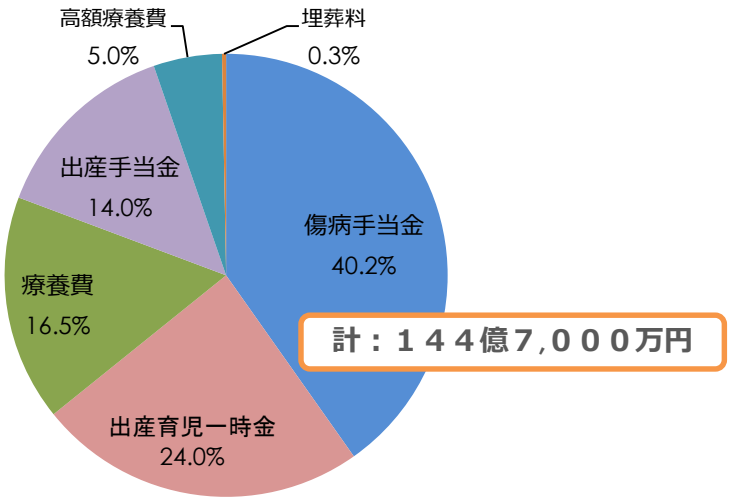
その他の現金給付費
- 傷病手当金
- 埋葬料（費）
- 出産育児一時金
- 出産手当金

現金給付費

令和２年度　京都支部の保険給付費の内訳

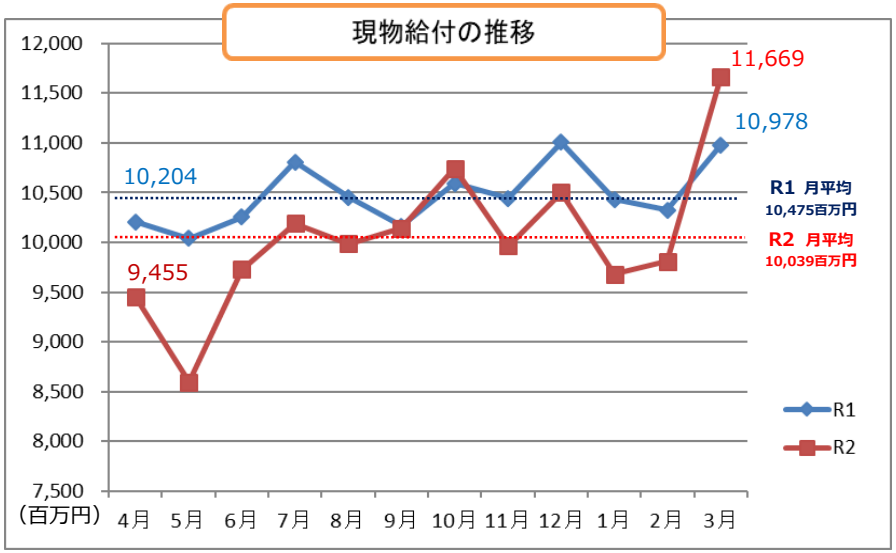


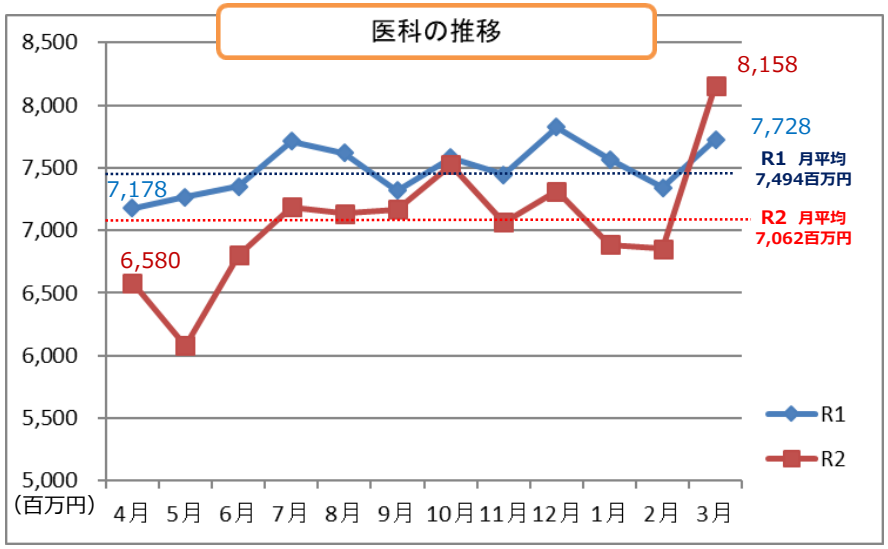
令和２年度　京都支部の現金給付費の内訳

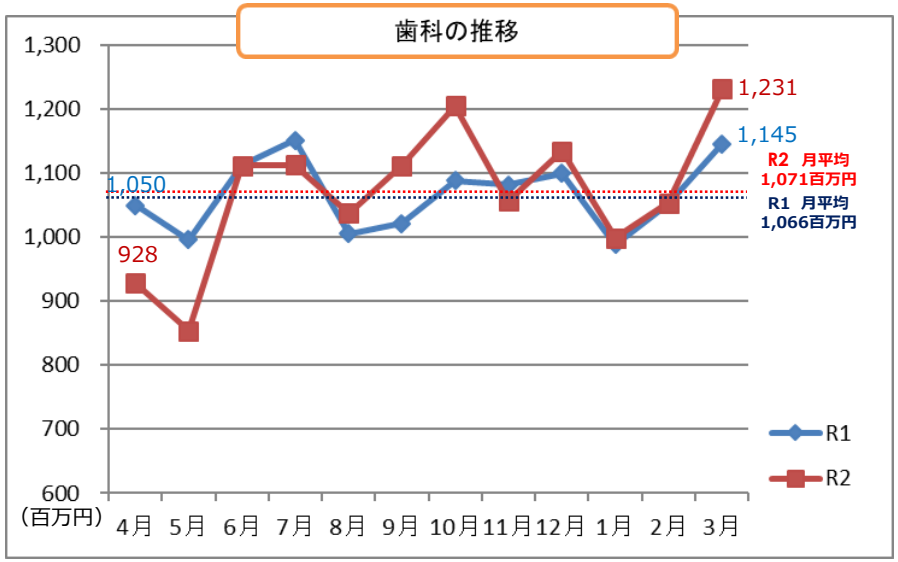


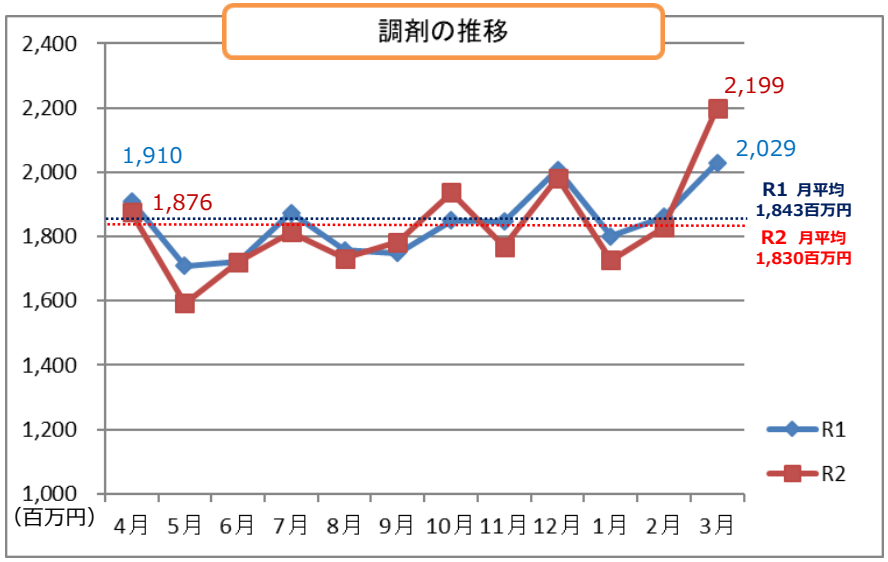
京都支部における現物給付の状況（年度比較・金額ベース）

健康保険の加入者の方が、病気やけがで医療機関にかかったとき、医療費の一部を負担することで、診療・治療などの医療サービス（現物）の給付が受けられます。これを現物給付といいます。令和２年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う協会けんぽ加入者の医療機関への受診動向等が変化し、歯科以外の項目において前年度より減少しました。





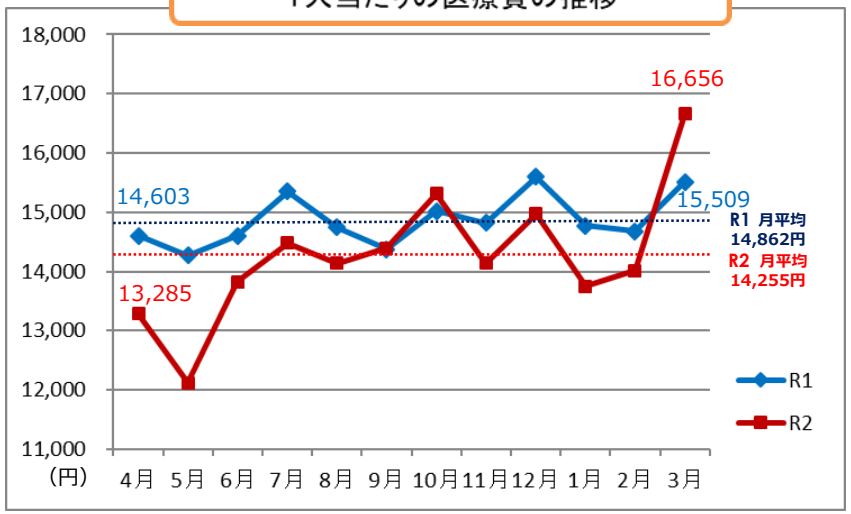




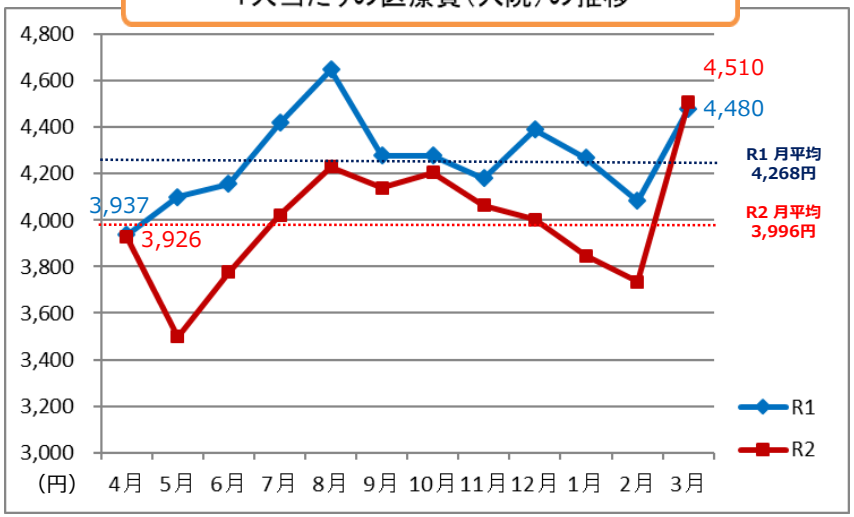
京都支部における加入者１人あたりの医療費（年度比較・金額ベース）

京都支部の加入者１人当たりの月平均医療費は、歯科以外の項目において前年度を下回っています。

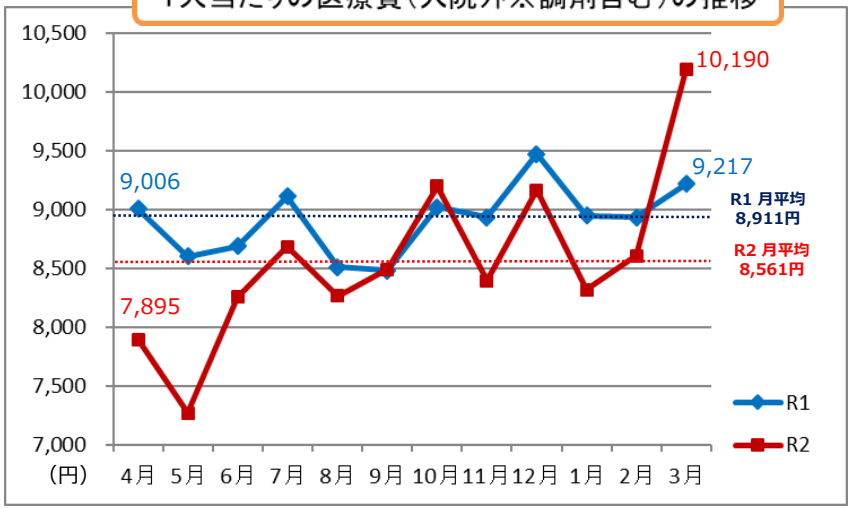
１人当たりの医療費の推移



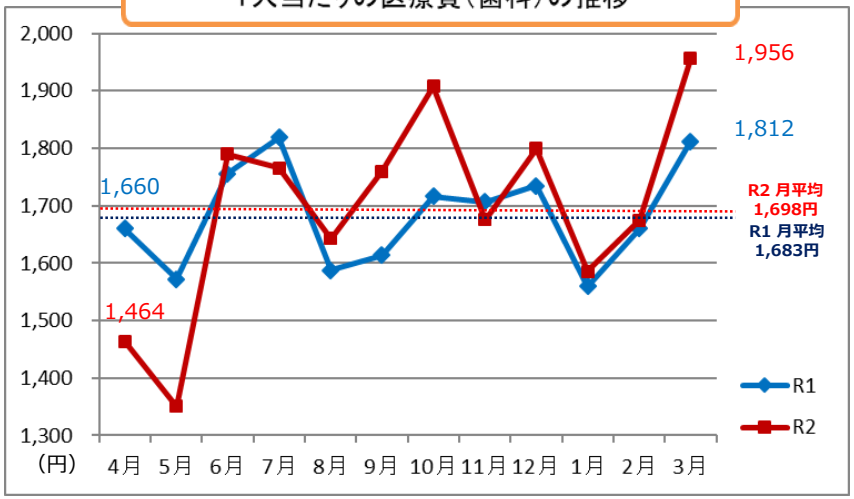
１人当たりの医療費（入院）の推移



１人当たりの医療費（入院外※調剤含む）の推移

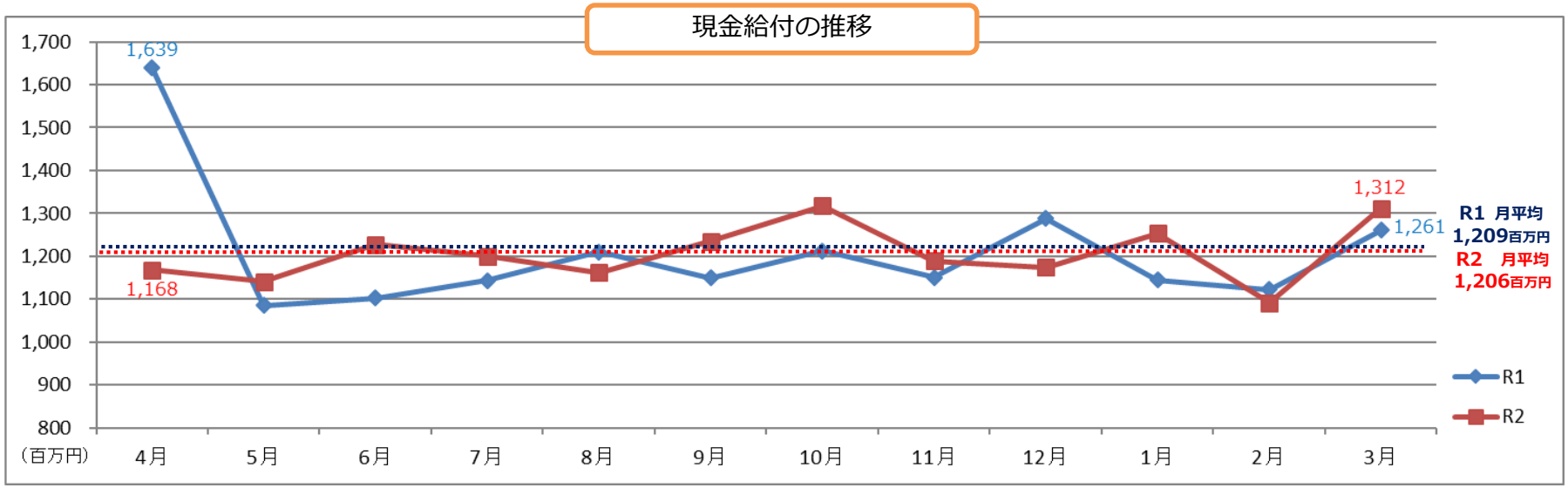


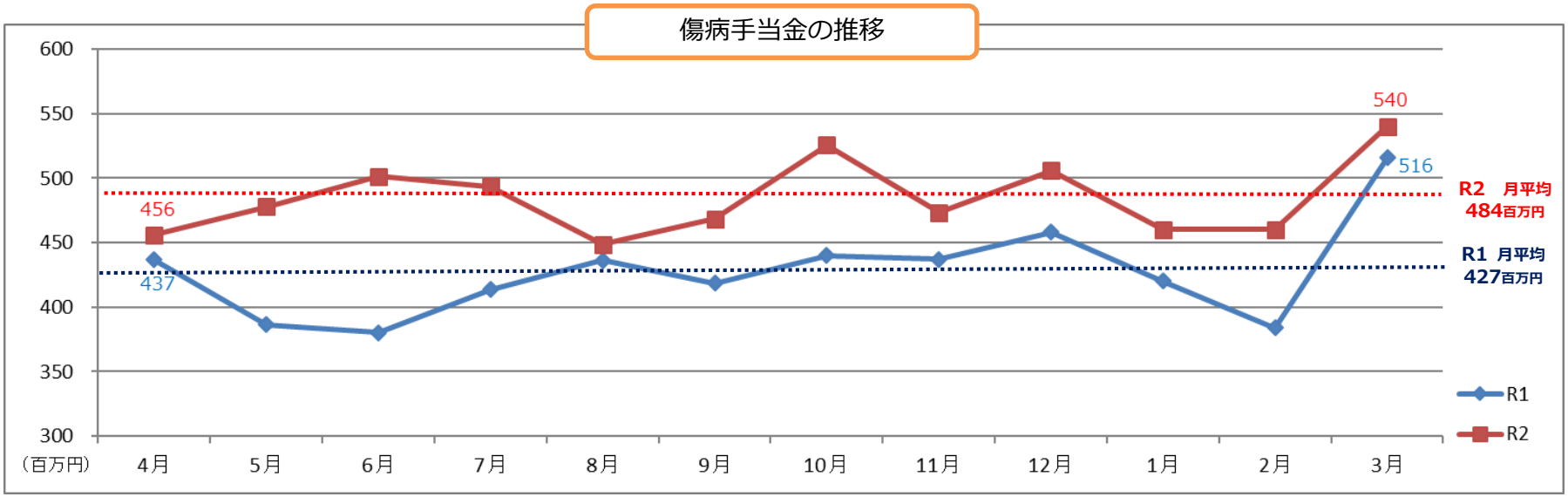
１人当たりの医療費（歯科）の推移



京都支部における現金給付費の状況（年度比較・金額ベース）

京都支部の現金給付の状況は前年度から横ばいとなっています。現金給付のなかでは傷病手当金は増加しています。





生活習慣病予防健診・特定健康診査の健診実施状況（年度比較）

対象者	被保険者（３５歳以上７５歳未満の方）	被扶養者（４０歳以上７５歳未満の方）
健診	生活習慣病予防健診	特定健康診査
保健指導	協会けんぽもしくは医療機関・専門機関の保健師・管理栄養士が実施（無料）	協会けんぽもしくは府内の契約機関にて実施（一部受診者負担あり）（対象者には利用券を送付）

生活習慣病予防健診（被保険者）

（人）

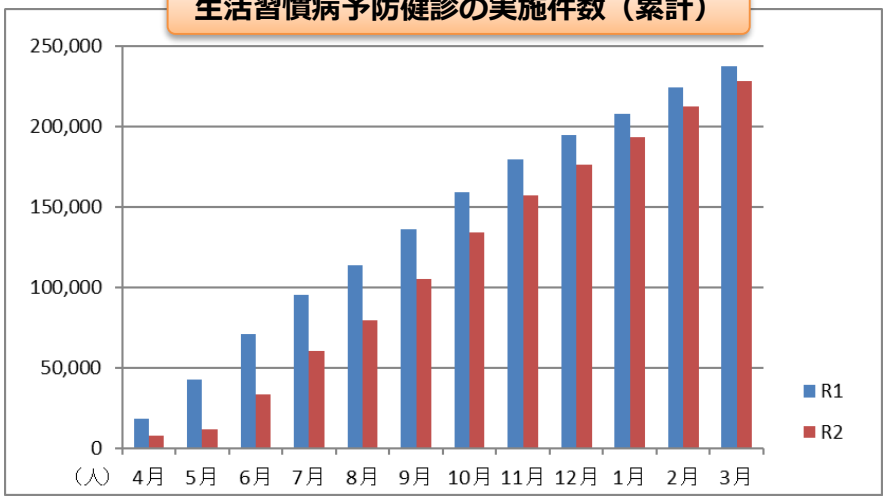
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度累計	対前年比
R1	18,052	24,373	28,052	24,967	18,360	21,909	23,138	20,513	14,830	13,552	16,522	13,181	237,449	−3.8% ↘
R2	7,686	3,794	22,040	26,500	19,527	25,368	29,048	23,351	18,624	17,371	18,626	16,388	228,323	

特定健康診査（被扶養者）

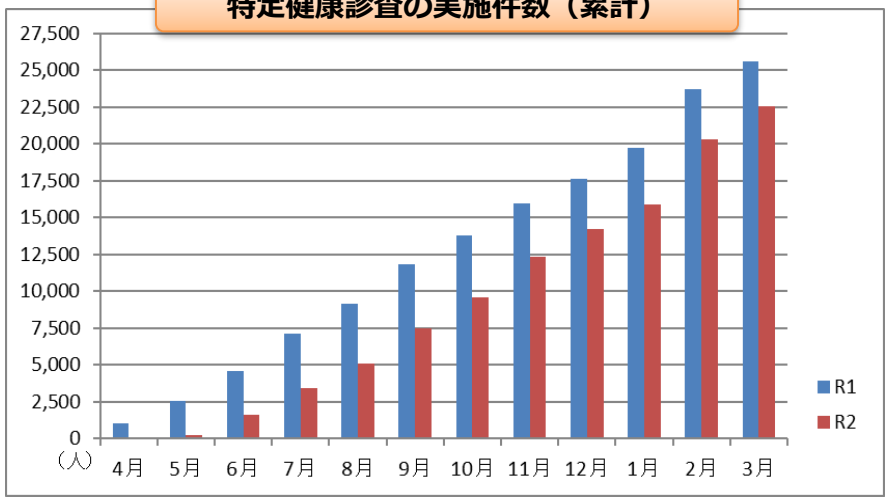
（人）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度累計	対前年比
R1	1,023	1,536	2,045	2,507	2,045	2,665	1,980	2,177	1,643	2,079	4,006	1,895	25,601	−11.9% ↘
R2	128	137	1,344	1,811	1,707	2,342	2,104	2,735	1,919	1,629	4,416	2,292	22,564	

生活習慣病予防健診の実施件数（累計）



特定健康診査の実施件数（累計）



特定保健指導について

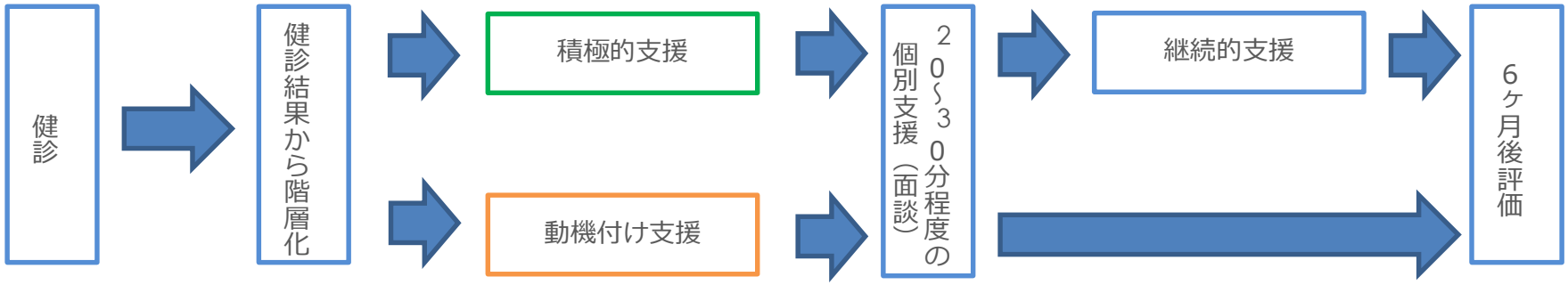
●特定保健指導とは？

健診の結果、メタボリックシンドロームの危険因子の数に応じて、生活習慣の改善が必要な方に行われる保健指導のことをいいます。
『積極的支援』と『動機付け支援』の２つのタイプの特定保健指導があります。

①積極的支援　**（腹囲男性85㎝・女性90㎝以上）かつメタボリックシンドロームの危険因子（血糖・脂質・血圧・喫煙）の数が２つ以上ある方**
（BMI25以上）かつメタボリックシンドロームの危険因子（血糖・脂質・血圧・喫煙）の数が３つ以上ある方
個別面談または、グループ学習で保健師等がご一緒に生活習慣の目標を設定した後、３～６ヶ月間継続的に、
個別面談・電話・メール・手紙・FAXなどにより、その実行をお手伝いいたします。

②動機付け支援　**（腹囲男性85㎝・女性90㎝以上）かつメタボリックシンドロームの危険因子（血糖・脂質・血圧）の数が１つある方**
（BMI25以上）かつメタボリックシンドロームの危険因子（血糖・脂質・血圧・喫煙）の数が１つ～２つある方
原則として１回、個別面談または、グループ学習により、保健師等がご一緒に生活習慣を振り返り、ライフスタイルに合わせた生活習慣の目標の設定や実行をお手伝いいたします。

●特定保健指導の流れ

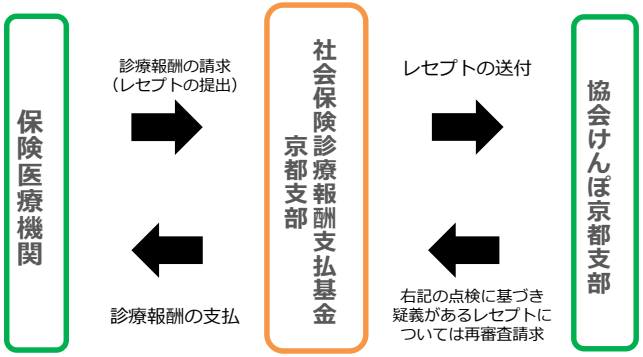


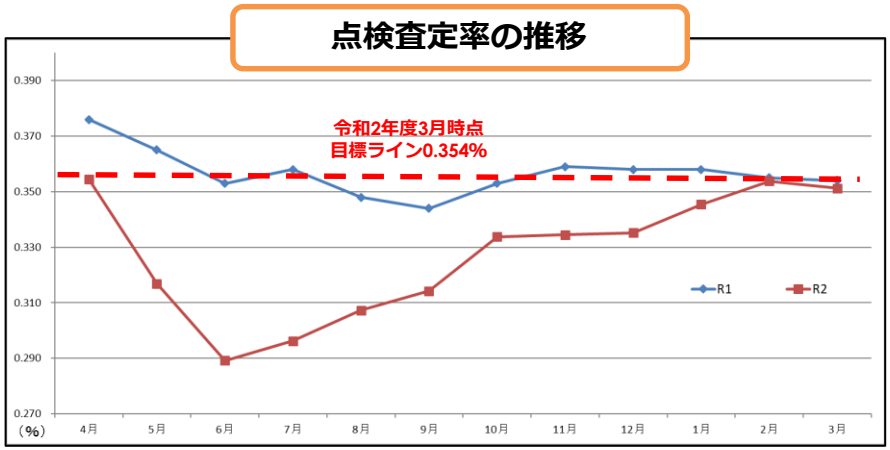
●特定保健指導の６ヶ月後評価実施状況

	積極的支援（実施率）	動機付け支援（実施率）	合計（実施率）
R1年度	3,046（12.2%）	4,052（20.2%）	7,098（15.8%）
R2年度	2,548(10.2%)	2,997（14.9%）	5,545（12.3%）

レセプト点検査定率（協会けんぽと診療報酬支払基金の合算査定率）

査定率とは…総医療費に占める査定額の割合
査定額とは…レセプトの内容点検により、保険診療とは認められなかった額





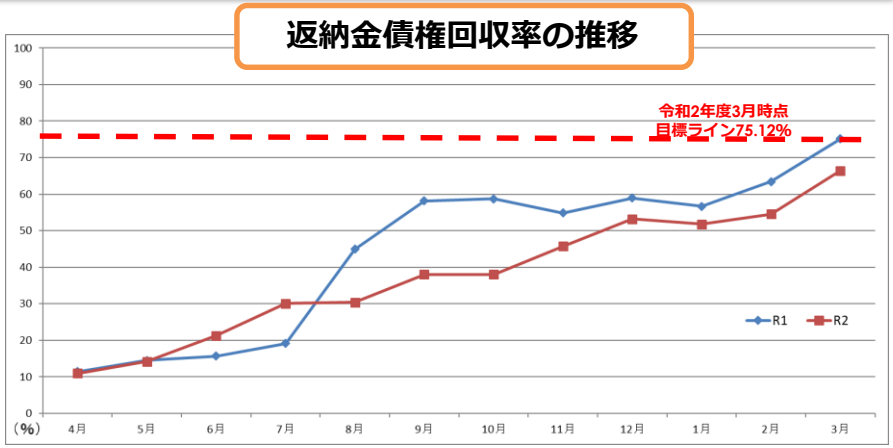
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
R1	0.376	0.365	0.353	0.358	0.348	0.344	0.353	0.359	0.358	0.358	0.355	0.354	0.357
R2	0.355	0.317	0.289	0.296	0.307	0.314	0.334	0.334	0.335	0.345	0.354	0.351	0.328

(%)

無資格受診の返納金債権回収率（年度比較）

無資格受診の返納金債権とは

健康保険の資格喪失後に、無効になった保険証で医療機関受診することにより発生する不当利得返還金

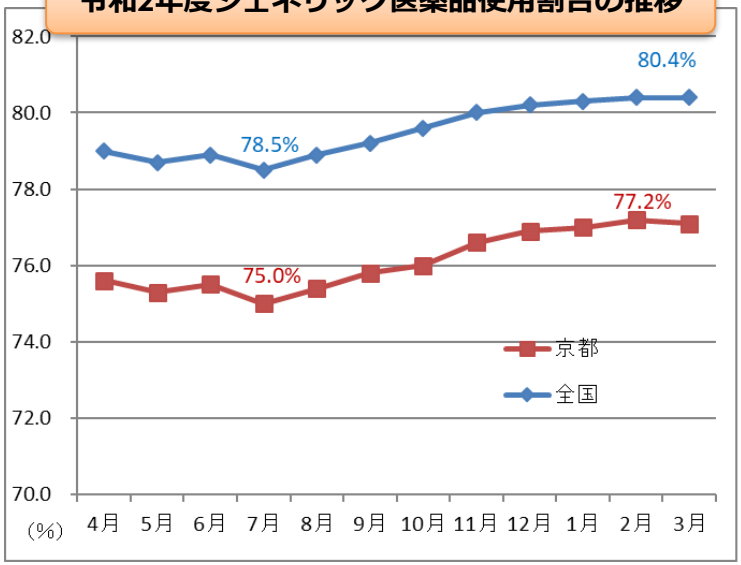


年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R1	11.40	14.48	15.71	19.18	44.97	58.13	58.74	54.90	58.94	56.66	63.45	75.12
R2	10.97	14.15	21.24	30.05	30.38	38.00	38.05	45.71	53.24	51.77	54.57	66.45

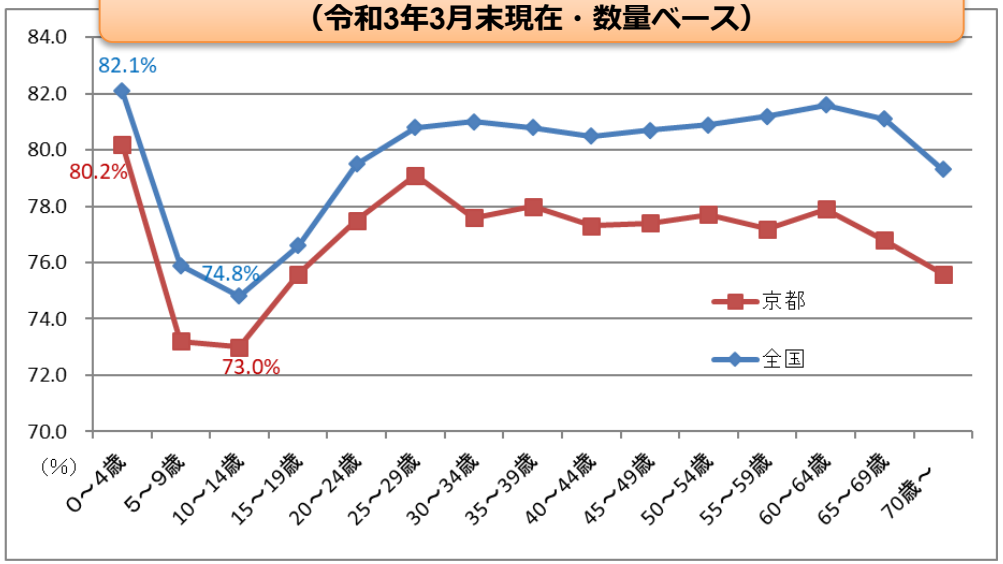
(%)

ジェネリック医薬品の使用状況（全国比較）

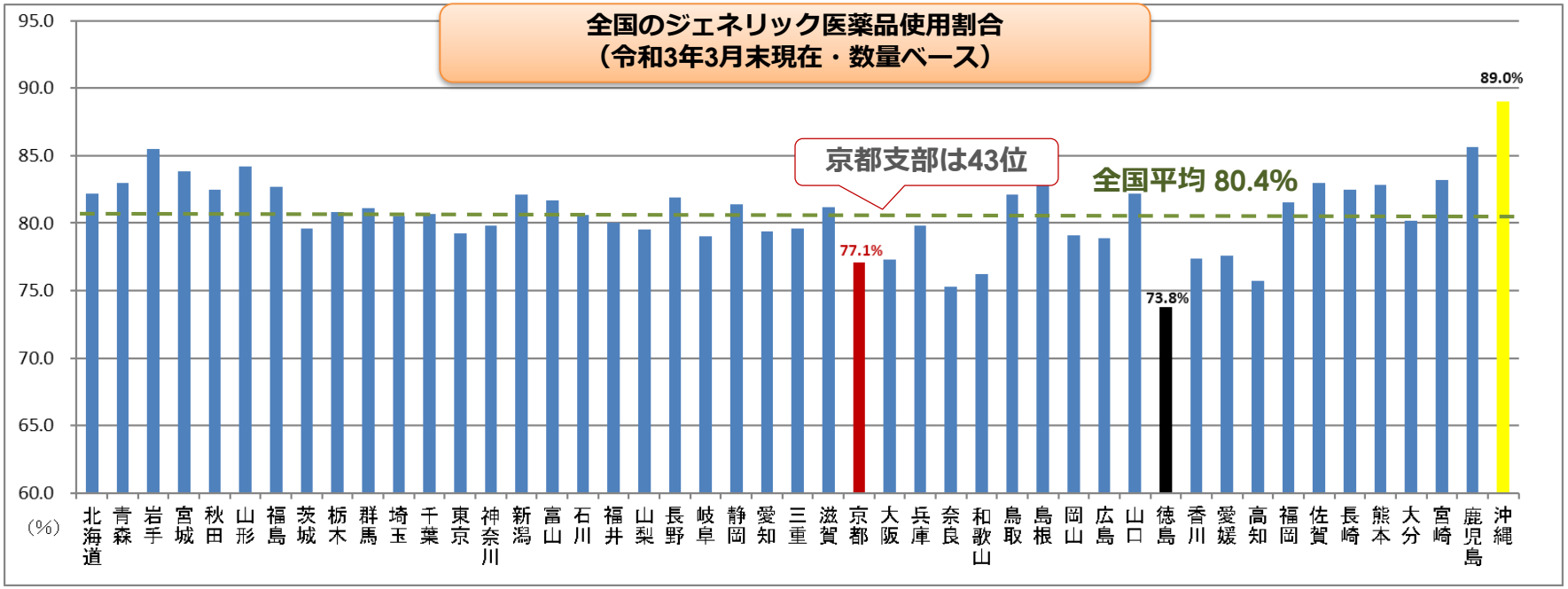
令和2年度ジェネリック医薬品使用割合の推移



年齢階級別ジェネリック医薬品使用割合（令和3年3月末現在・数量ベース）



全国のジェネリック医薬品使用割合（令和3年3月末現在・数量ベース）



※協会けんぽ（一般分）の医科、DPC、歯科、調剤レセプトについて集計したものである。（ただし、電子レセプトに限る。）

令和２年度ジェネリック医薬品自己負担軽減額通知サービス

（１）負担軽減通知の対象

対象年齢→１５歳以上
対象疾患等→慢性疾患、生活習慣病などの先発医薬品を長期間服用されている方
対象軽減額→対象診療月のレセプトを分析して、自己負担の軽減可能額が一定以上の方
・令和２年８月実施（１回目）　対象診療月・・・令和２年２、３、４月　**軽減可能額・・・医科レセプト５００円以上、調剤レセプト５０円以上**
・令和３年２月実施（２回目）　対象診療月・・・令和２年８、９、１０月　**軽減可能額・・・医科レセプト５００円以上、調剤レセプト５０円以上**

（２）負担軽減通知効果額（推計）

	実施年月	通知人数	切替人数	切替割合	切替1人あたりの軽減効果額/月	1か月あたりの軽減効果額①	年間軽減効果額 ①×12
京都支部	令和2年8月	約7万8千人	約2万1千人	26.4%	1,733円	約3千6百万円	**約8億8千万円**
	令和3年2月	約6万6千人	約2万人	30.7%	1,865円	約3千8百万円	
全　国	令和2年8月	約369万人	約104万人	28.3%	1,760円	約18億3千万円	**約450億9千万円**
	令和3年2月	約311万人	約102万人	32.7%	1,889円	約19億2千万円	

（３）京都支部の年齢階層別・負担軽減別の切替率

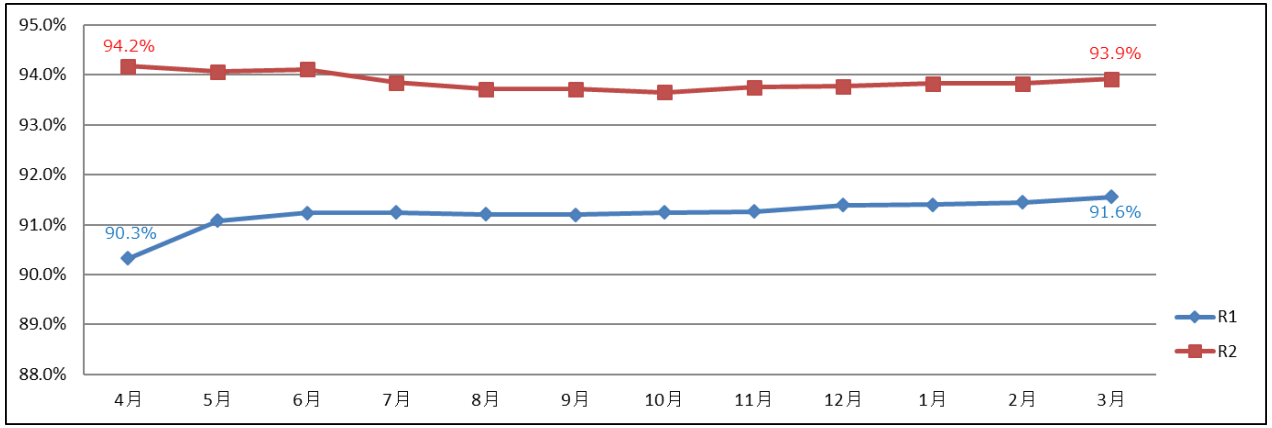
令和2年8月実施分	50円～299円	300円～399円	400円～499円	500円～999円	1000円以上	合計
16～19歳	12.4%	14.8%	16.0%	16.7%	17.2%	15.1%
20～24歳	14.7%	13.0%	19.1%	19.3%	19.4%	16.8%
25～29歳	13.7%	18.2%	19.7%	20.5%	21.3%	17.5%
30～34歳	15.4%	19.1%	17.2%	20.0%	24.1%	18.5%
35～39歳	13.8%	20.7%	18.5%	21.0%	23.2%	18.6%
40～44歳	16.8%	21.1%	19.5%	23.3%	26.1%	21.2%
45～49歳	20.1%	22.2%	23.5%	24.5%	28.0%	23.8%
50～54歳	23.9%	22.5%	29.6%	26.2%	29.2%	26.5%
55～59歳	27.9%	28.6%	30.1%	29.4%	29.9%	29.2%
60～64歳	30.2%	26.7%	34.9%	31.8%	32.6%	31.6%
65～69歳	33.2%	31.2%	35.1%	34.1%	33.2%	33.5%
70歳～	35.8%	37.5%	35.8%	37.6%	35.4%	36.3%
合計	22.7%	25.0%	25.3%	27.7%	29.6%	26.4%

令和3年2月実施分	50円～299円	300円～399円	400円～499円	500円～999円	1000円以上	合計
16～19歳	17.6%	22.3%	27.3%	26.2%	33.2%	23.0%
20～24歳	17.6%	20.1%	20.6%	24.1%	22.0%	19.9%
25～29歳	17.3%	23.4%	21.2%	21.4%	26.4%	20.3%
30～34歳	19.5%	17.8%	16.4%	22.6%	28.6%	21.6%
35～39歳	22.5%	24.2%	26.1%	27.6%	30.5%	25.7%
40～44歳	23.5%	24.8%	31.3%	27.8%	33.3%	27.5%
45～49歳	25.6%	30.3%	24.1%	29.2%	33.5%	28.8%
50～54歳	28.8%	30.2%	27.6%	32.4%	33.5%	31.2%
55～59歳	31.3%	30.8%	34.9%	32.5%	33.9%	32.6%
60～64歳	34.0%	30.3%	34.4%	34.9%	34.0%	34.0%
65～69歳	37.2%	34.9%	30.8%	37.2%	33.2%	35.3%
70歳～	39.5%	38.9%	43.4%	40.4%	36.4%	38.9%
合計	27.5%	29.7%	29.5%	32.4%	33.3%	30.7%

概ね年齢が高くなるほどジェネリック医薬品に切り替えされる方の割合が多くなる傾向があります。

京都支部　郵送受付率の推移（年度比較）

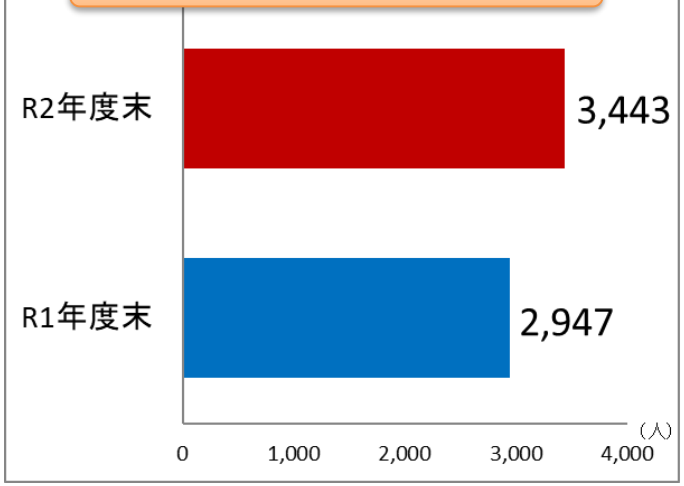
お客様の利便性向上と事務処理の迅速化を図るため申請書等の郵送による提出を促進しています。令和２年度は前年度を上回る結果となりました。



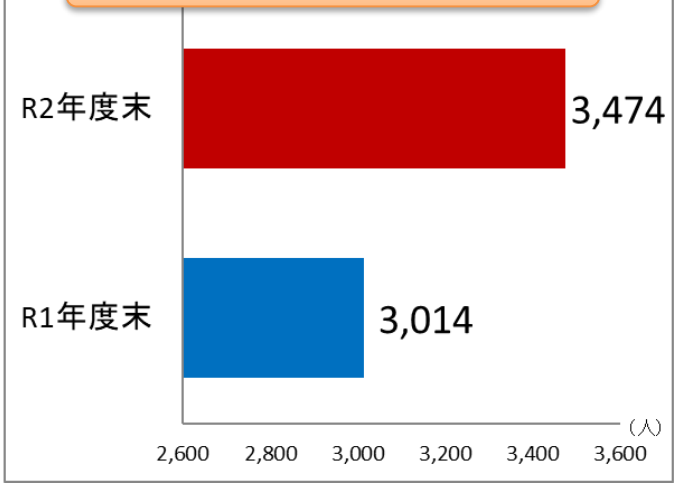
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R1	90.3%	91.1%	91.2%	91.2%	91.2%	91.2%	91.2%	91.3%	91.4%	91.4%	91.5%	91.6%
R2	94.2%	94.1%	94.1%	93.8%	93.7%	93.7%	93.7%	93.8%	93.8%	93.8%	93.8%	93.9%

京都支部における健康保険委員にかかる活動

京都支部の健康保険委員委嘱者数



京都支部のメールマガジン登録者数



健康保険委員とは

→広報・相談・健康保険事業の推進・モニター等にご協力いただく被保険者の方です。

〈活動強化に関する取組み（R2年度）〉

- 健康保険委員向け研修会の開催
- 健康保険委員表彰
- 健康経営推進のための活動
- 事業所訪問等による制度説明　等